

# 進路だより

札幌市立東白石中学校  
第3学年 進路係  
第70号  
2019年11月5日発行

『夢をかなえるために……』

## 就職を考える (その1)

### 高校卒業後の進路について

高校卒業後の進路について、前号まで進学編を紹介してきましたが、この号からは就職編になります。仮に高校卒業後、さらに上級の学校(大学や専門学校など)へ進学するとしても、いずれは就職するのですから、就職について様々な知識を持っていた方がより良いでしょう。社会の変化に伴って、従来とは仕事の内容が変化してしまった職種もありますし、資格というものの多様さはこれまでも紹介してきた通りです(10年くらい前には、国家資格・民間資格を合わせて1238種類あると言われていました)。“就職”に対する考え方を身につけてほしいと思います。

#### 知識・技術を多面的に生かそう

電気や機械関係の資格を持っている人が、工場の技術者から営業部にまわるケースが増えています。なぜ営業部にまわるのかというと、機械を売り込むときに、自分の作った機械ですから、どういう性能でどういう特徴を持っているのかをよく知っているからです。そういう人が営業にまわると、断然強いんです。なぜなら、電子関係でも自動車でも、今はお客さんが一定の知識を持っている時代です。だから、お客さんが持っている知識を上回る知識を持っていないと、売り込むことはできないわけです。これが普通の営業マンには、なかなかできないのです。

昔は農業高校の園芸科を出て、自動車のセールスマンになることができました。園芸科ですから、目的の家に行ったときに庭を見ます。昔は自動車を買う家は、金持ちだったんです。つまり、庭のある家でなければ、自動車を買わなかったんです。それで、庭を見て松の木をほめたり、石の形がいいなどといって親しくなり、自動車を売ったんです。自動車とは関係のない部分で、営業ができたんです。

しかし、そういう時代は過ぎました。自動車についての知識は誰でも持っている。だから今は、整備士でセールスのできる人が、絶対に強いんです。ところが整備士を養成する学校に進学する人は、自動車そのものが好きなのであって、それを売ることには興味がないという人が多いのです。だから、自動車に興味があって、人と話すこともすごく好きだという人は、技術を身につけることによって、他人には真似のできないセールスをすることができるのです。

学校で学んだ知識・技術を、多面的に生かすことを考えていかなければならないの

が、これからの時代です。これは、すべての職種について言えることです。

高校の建築科を卒業して3年以上の実務経験をつみ、試験を受けて2級建築士の資格を取るとか、木造建築士の資格を取るとかも一つですけど、他の道もあります。たとえば、ディスプレイのデザイナーになるということです。ディスプレイデザイナーとは、いろいろな商品を飾りつける仕事です。大きな駅に行くと、大きなショーウィンドウがあって、洋服が飾ってあったり、各地の特産品が飾ってあったりします。あれは専門家の仕事です。限られた空間を利用して、どのように品物を置いて、どのような背景をつくって、どのように人形を置いたらこれが引き立つか。それを考える仕事です。建築科で学んだ人は、空間を認識するという力が自然についていますから、そういうところでも才能を発揮できるわけです。

また、建築科で学ぶ勉強(機械科や電気科でも学びますが)に、トレーサーの仕事があります。これは、精密さを要求される仕事です。トレーサーとは、建築・機械・家庭用品などの設計図を描いたり、完成図や説明図を描いている人ですが、これも人手が足りません。多面的な考え方をすると、いろいろな道が開けます。

【参照:「進路指導の要点」 関根庄一 著】

## 相談会のお知らせ

### ◇北海道文教大学明清高校 ミニ学校説明・入試個別相談会

1. 実施日 11月9日(土)、11月16日(土)、11月23日(土)  
※時間帯は、いずれの日も10:00~12:00です。
2. 場所 北海道文教大学明清高校(南区藤野400番地)
3. 内容 学校紹介、入試概要説明、施設見学、入試個別相談
4. その他 当日は、地下鉄真駒内駅から、9:30発の無料送迎バスが運行されます。
5. 申し込みについて  
電話や高校HPを利用して、高校に直接申し込んでください。高校側の締め切りは、各実施日の前日となっています。

### ◇真狩高校(昼間定時制・農芸科学科) 進学相談会

1. 実施日 11月15日(金) 18:00から30分刻みで20:30まで  
11月16日(土) 9:30から30分刻みで11:30まで
2. 場所 かでる2・7(中央区北2条西7丁目)610会議室
3. 内容 進学に関する個別相談
4. 申し込みについて  
専用の申し込み用紙を利用して、高校にFAXで直接申し込むことになります。参加希望者は係(目時)から用紙を受け取って、11月12日(火)までに申し込んでください。